

平成27年度教育職員評価に基づき表彰された教育職員

所属	役職名	氏名	評価	高く評価された領域	高く評価された取組	
工学研究院	機械知能工学研究系	教授	米本 浩一	特に優れている	研究S・社会貢献S	研究面において外部資金獲得及び研究紹介の全国放映により顕著な成果を挙げ、また宇宙工学分野で本学の知名度を高め社会貢献面で顕著な成果を挙げた。
	電気電子工学研究系	教授	大村 一郎	特に優れている	研究SS	多額の外部資金獲得や多数の招待講演など研究面で特に顕著な成果を挙げた。
	電気電子工学研究系	教授	芹川 聖一	特に優れている	研究S・社会貢献SS	非常に活発な質の高い論文発表が行われており、研究面で顕著な成果を挙げた。また、多くの国内外の学会実行委員長を務め本学の知名度向上に大いに貢献し、社会貢献面で特に顕著な成果を挙げた。
	電気電子工学研究系	教授	匹田 政幸	特に優れている	研究S・社会貢献S	非常に多数の査読付き学術論文と国際会議論文、多大な外部資金獲得により、研究面で顕著な成果を挙げた。また、多数の学会の委員等を歴任し、社会貢献面で顕著な成果を挙げた。
	物質工学研究系	教授	竹中 繁織	特に優れている	研究S・管理運営S	研究業績は本学のトップクラスであり、研究面で顕著な成果を挙げた。また、化学分野のリーダーとして、管理運営面においても顕著な成果を挙げた。
	物質工学研究系	教授	松本 要	特に優れている	研究SS	論文数、引用数、外部資金獲得の全てにおいて特に秀でており、研究面において特に顕著な成果を挙げた。
	基礎科学研究系	教授	中尾 基	特に優れている	教育S・管理運営S	工学部のPBL教育を牽引し、PBL合同発表会の開催など、教育面で顕著な成果を挙げた。また、副部局長及び学長特別補佐として活躍しており、管理運営面においても顕著な成果を挙げた。
	人間科学系	教授	水井 万里子	特に優れている	教育SS・管理運営S	工学部・工学府を通じて組織的教育貢献が大であり、教育面で特に顕著な成果を挙げた。工学部・工学府教育方法等開発室長ならびに学習教育センター教育支援部門長として大学の教育方針の検討ならびに制度設計に大いに貢献し、管理運営面において顕著な成果を挙げた。
先端機能システム工学研究系	教授	趙 孟佑	特に優れている	教育SS・研究SS・社会貢献SS	本学の人工衛星プロジェクトを牽引しており、鳳龍弐号・四号および「あおば」プロジェクトを成功に導いている。また国費留学生の優先配置プログラムに認定された宇宙工学国際コースの企画・実施など、教育面で特に顕著な成果を挙げた。多額の外部資金の獲得や数多くの論文発表、メディア露出など研究面で特に顕著な成果を挙げた。人工衛星関係の活動において、社会貢献面で特に顕著な成果を挙げた。	

所属	役職名	氏名	評価	高く評価された領域	高く評価された取組	
情報工学研究院	知能情報工学研究系	准教授	岡部 孝弘	特に優れている	研究SS	被引用論文の当該分野におけるtop5%、top10%の論文数での高い実績が裏付けるように質の高い論文を多く発表していることに加え、外部資金獲得額の実績も高く、研究面で特に顕著な成果を挙げた。
	電子情報工学研究系	教授	尾知 博	特に優れている	教育S・研究S	3名の博士後期課程の学生を主査として修了させたことに加え、多くの留学生を受け入れ、延べ27名の博士後期課程の学生指導をおこなった。さらに、大学院において英語での講義を行うなど、本学のグローバル教育に貢献しており、教育面において顕著な成果を挙げた。 無線LANの標準の提案がIEEEで採用されたことが高く評価できるのに加え、多額の外部資金を獲得しており、研究面において顕著な成果を挙げた。
	電子情報工学研究系	教授	鶴 正人	特に優れている	教育S・研究S	4名の博士後期課程の学生を主査として修了させており、3年間で5名の留学生を受け入れるなど、教育面において顕著な成果を挙げた。 論文数が多いのに加え、IEEEなどの賞を受賞するなど質も高く、外部資金獲得額の多さや共同研究の実績も高く評価でき、研究面で顕著な成果を挙げた。
	システム創成情報工学研究系	教授	伊藤 博	特に優れている	研究SS	世界首位の学術誌に論文を多数掲載し、権威ある国際委員会の副議長、分野トップの国際会議での基調講演など多くの実績があり、また被引用論文の当該分野におけるtop1%、top5%、top10%の論文数での極めて高い業績をあげるなど、研究面において特に顕著な成果を挙げた。
	機械情報工学研究系	教授	伊藤 高廣	特に優れている	社会貢献SS	飯塚病院との医工連携を始めとして地域貢献や社会貢献に高い実績があることに加え、消化管走行カプセルに関して全国放送TVなど多くのメディアで報道されるなど、社会貢献面で特に顕著な成果を挙げた。
	生命情報工学研究系	教授	安永 卓生	特に優れている	教育SS	学部教育におけるアクティブラーニングの導入や大学院教育における需要創発コースの充実による高い貢献をしており、教育面において顕著な成果を挙げた。
	人間科学系	教授	豊島 孝之	特に優れている	管理運営SS	研究院長補佐として、学部の英語教育の強化案を取りまとめ、学部のTOEIC集中講義、大学院での英語workshopの企画・実施を始め、グローバルコミュニケーションラウンジの企画・実施、さらには入試への英語外部試験の導入に関することへの貢献など、学部・学府の英語強化に関する貢献が極めて高く、管理運営面において特に顕著な成果を挙げた。
	人間科学系	准教授	磯貝 浩久	特に優れている	教育S・社会貢献S	5名の博士後期課程の学生を主査として修了させるなど、教育面において顕著な成果を挙げた。また、Asian-South Pacific Association of Sport Psychology学会のVice Presidentとしての貢献や、国際会議でのプログラム委員長としての貢献は大きく、社会貢献面で顕著な成果を挙げた。
	情報創成工学研究系	教授	温 暁青	特に優れている	研究S・社会貢献S	多くの研究成果の発表、被引用数が当該分野でtop5%、top10%の論文数の実績が高いことに加え、2012年にIEEEフェローの称号を授与されたことや、多くの研究資金を獲得しているなど、研究面において顕著な成果を挙げた。 著名な国際雑誌のEditorを数多く担当し、また大分県への地域貢献も高いことなど、社会貢献面で顕著な成果を挙げた。
	情報創成工学研究系	教授	梶原 誠司	特に優れている	教育S・研究S・管理運営S	部局の教育面でのリーダーとして貢献し、教育面で顕著な成果を挙げた。 高い研究業績やJSTにおけるハイレベルの研究活動など、研究面において顕著な成果を挙げた。 情報工学部・工学府の改組を迅速に進めるなど、リーダーシップを発揮し、管理運営面で顕著な成果を挙げた。

所属		役職名	氏名	評価	高く評価された領域	高く評価された取組
生命体工学研究科	生体機能応用工学専攻	教授	白井 義人	特に優れている	教育S・管理運営SS	本学及びMSSCでの学生教育への大きな貢献により教育面で顕著な成果を挙げた。 MSSCのディレクター及びエコタウン実証研究センターのセンター長として大きく貢献したことにより、管理運営面で特に顕著な成果を挙げた。
	生体機能応用工学専攻	教授	早瀬 修二	特に優れている	教育SS・研究SS・管理運営S	博士後期課程学生数に悩んでいた研究科に対して、最大の貢献をし、教育面で特に顕著な成果を挙げた。 また、世界を代表する研究業績と我が国におけるリーダーとしての実績により、研究面で特に顕著な成果を挙げた。 第二期における懸案であった生命体工学研究科の改組を先導し、優れた研究者集団への改組を実現したことにより、管理運営面で顕著な成果を挙げた。
	人間知能システム工学専攻	教授	石井 和男	特に優れている	研究S・社会貢献S	表彰・受賞、メディアへの発信・発表、外部資金及び共同研究の数が多く、高い研究レベルを維持しているなど、研究面で顕著な成果を挙げた。 本学主催の多くのセミナーを実施し、社会貢献面で顕著な成果を挙げた。
	人間知能システム工学専攻	教授	森江 隆	特に優れている	教育S・研究S	カーロボ連携大学院は産業界と連携した優れた教育プログラムとして着実に評価が高まりつつあり、本プログラムの事業推進責任者として尽力し、教育面で顕著な成果を挙げた。 また、高い研究業績及び多額の外部資金獲得により、研究面で顕著な成果を挙げた。